

保健体育学習指導案

展開学級 2年 CD 組男子
展開場所 体育館

1 単元名 ダンス（創作ダンス）

2 単元目標

- (1) 創作ダンスの学習に積極的に取り組もうとするとともに、互いのよさを認め合おうとすることができる。 (関心・意欲・態度)
- (2) グループや自分に適した課題の解決を目指して、練習や交流の仕方を工夫することができる。 (思考・判断)
- (3) 多様なテーマから表したいイメージをとらえ、動きに変化を付けて表現することができる。(技能)
- (4) 創作ダンスの特性と表現の仕方について理解することができる。 (知識・理解)

3 評価規準

観点	運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
内容のまとまりごとの評価規準	ダンスの楽しさや喜びを味わうことができるよう、よさを認め合おうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。	ダンスを豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	ダンスの特性に応じて、交流ができるよう、イメージを捉えた表現や踊りをするための動きを身に付けている。	ダンスの特性、踊りの由来と表現の仕方、関連して高まる体力などを理解している。
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。 ・よさを認め合おうとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・仲間の学習を援助しようとしている。 ・健康・安全に留意している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の興味や関心に合ったテーマや踊りを設定している。 ・課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・発表の場面で、仲間のよい動きや表現などを指摘している。 ・学習した安全上の留意点を仲間と学習する場面に当てはめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創作ダンスでは、多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊るための動きができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスの特性について、学習した具体例を挙げている。 ・踊りの由来について、学習した具体例を挙げている。 ・表現の仕方について学習した具体例を挙げている。 ・ダンスに関連して高まる体力について学習した具体例を挙げている。
観点	ア 運動への 関心・意欲・態度	イ 運動についての 思考・判断	ウ 運動の技能	エ 運動についての 知識・理解

<p>学習活動に即した評価規準</p>	<p>①ダンスに関心を持ち、自ら進んで練習しようとしている。(観察) ②互いの違いやよさを認め合おうとしている。(観察・学習ノート) ③自己の役割を果たし、仲間と協力して練習しようとしている。(観察) ④仲間と教え合ったり、補助し合ったりして学習を援助しようとしている。(観察) ⑤健康・安全に留意して活動している。(観察)</p>	<p>①テーマからイメージする動きを見付けている。(観察、学習カード、付箋) ②自己やグループの課題を見付け、その課題に応じた練習方法を選んでいる。(観察、学習ノート) ③仲間との交流の場面で、互いの表現方法の違いやよさを指摘している。(観察) ④学習した安全上の留意点を学習する場面に当てはめている。(観察、学習カード)</p>	<p>①テーマから表したいイメージを捉え全身を使って大きく表現している。(観察) ②体の使い方や空間の使い方に変化を付けて、場面の様子を見ている人に伝える動きができています。(観察、動画)</p>	<p>①ダンスの特性や踊りの由来について、学習した具体例を挙げている。(学習ノート) ②表現の仕方について学習した具体例を挙げている。(学習ノート) ③ダンスに関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。(学習ノート)</p>
---------------------	--	--	---	---

4 単元について

(1) 一般的特性

ダンスは、「創作ダンス」「フォークダンス」「現代的なリズムのダンス」で構成され、イメージをとらえた表現や踊りを通じた交流を通して仲間とのコミュニケーションを豊かにすることを重視する運動で、仲間とともに感じを込めて踊ったり、イメージをとらえて自己を表現したりすることを楽しみや喜びを味わうことのできる運動である。また、表したい動きを自由に体を使って表現することで豊かな感性や創造性を育むことが期待できる。

創作ダンスは、多様なテーマから表したいイメージをとらえ、動きに変化を付けて即興的に表現することや、変化のあるひとまとまりの表現ができるようにすることをねらいとしている。また、イメージをとらえた表現や踊りを通じた交流をすることで、仲間のよさを認め合う意欲の向上やコミュニケーションを豊かにすることができる運動である。

(2) 生徒から見た特性

ダンスは、仲間と交流したり、作品をつくりあげる過程で意見交換や仲間のよさを認め合う活動をしたりすることで、自己を表現する楽しさや喜びを味わうことができ、「学びに向かう力」を育むことに大きな期待ができる。

近年、現代的なリズムのダンスはロックやヒップホップなど数多くのダンスグループの姿がメディアで取り上げられ、世界的に広まっていることもあり、生徒にとっても身近なものになってきている。しかし、創作ダンスについては、小学校で表現運動を学習しているものの、テーマのイメージをとらえて体で表現したり、感じを込めて踊ったりすることの経験は少ない。特に男子は、現代的なリズムのダン

スと比較して創作ダンスを「かっこいい」ダンスとしてとらえている者が少なく、人前でテーマになりきって踊ることを恥ずかしいと感じてしまう傾向にあり、周囲の目を気にして活動が消極的になってしまうことが考えられる。また、作品づくりの経験が少ないため、テーマから表したいイメージをとらえ、それにあった動きを見つけていくための感性や創造性が十分に育まれておらず、動きづくりで案が出せず、作品づくりの楽しさを味わうことができないということが考えられる。

(3) 生徒の実態

本校生徒は、体育の授業への関心が非常に高い。どの単元においても自分の目標をもち、積極的に取り組むことができる。また、授業開始時刻前に集合し、点呼や体操を終えたり、行動の切り替えを素早く行ったりするなどの学習規範が定着している。体力テストでは、8項目中5項目が全国平均を下回る結果となり、基礎体力が低いと言える。しかし、目標達成のために課題解決に取り組んだり、互いに教え合ったりする意欲は高く、基礎体力の向上を目指した5分間走や補強運動には全力で取り組んでいる。

本校では、互いの教え合いをより効果的に行うために、付箋に短い言葉で気付いたことを示し、相互評価するという取組を行ってきた。しかし、相手に分かりやすい言葉で表現して伝えることは苦手であり、自分が行った助言がよりよい活動につながったという実感をもっている生徒が少ないことは課題である。

< 事前アンケートの結果（2学年男子73人回答） >

★ダンス（創作ダンス）に関するアンケート

- ① 創作ダンス、リズムダンス、フォークダンスが
それぞれどんなダンスか知っていますか。
- ② どんなダンスが好きですか。

項目	割合
知っている	19.2%
まあまあ知っている	47.9%
あまり知らない	27.4%
知らない	5.5%

項目	割合
創作ダンス	30.1%
リズムダンス	56.2%
フォークダンス	13.7%

- ③ 小学校の表現運動を振り返り、自らの取組はどうでしたか。

項目	割合
意欲的に取り組んだ	20.5%
ある程度意欲的に取り組んだ	54.8%
あまり意欲的に取り組まなかった	23.3%
全く意欲的に取り組まなかった	1.4%

④-1 昨年（1学年）、リズムダンスを男女共習で学習し、どのような成果がありましたか。

※3つ選択

項目	割合	項目	割合
リズム感が身に付いた	22.9%	体力が上がった	8.7%
協調性が身に付いた	14.2%	踊る楽しさを味わえた	19.4%
表現する楽しさを味わえた	17.8%	作品をつくる楽しさを味わえた	7.4%
想像力が豊かになった	9.6%		

④-2 昨年（1学年）、リズムダンスを男女共習で学習し、どのような課題がありましたか。

※自由記述

<ul style="list-style-type: none"> ・話合いの内容を共通理解することができず、動きを合わせられなかった。 ・話合いが円滑に進まず、意見がまとまらなかった。 ・自分の意見をあまり言えなかった。 ・ダンスをつくるのに時間がかかりすぎてしまい、たくさん練習して上手く踊るところまでは至らなかった。
--

⑤ 課題を解決していくにはどのようなことが必要だと思いますか。

項目	割合
グループでの話合い	49.3%
学習ノートでの自己分析	4.1%
相互評価	12.3%
上手な生徒の技能の観察	15.1%
ビデオなどを使った振り返り	19.2%

⑥ 話合いの場面で、自分の意見を言えていますか。

項目	割合
言えている	10.9%
まあまあ言えている	53.4%
あまり言えていない	27.4%
言えていない	8.3%

⑦ どうすれば話合いの場面で、自分の意見を言えると思いますか。 ※自由記述

<ul style="list-style-type: none"> ・話合いのルールを明確にする。 ・ホワイトボード等の道具が見やすいようにする。 ・付箋などを使用し自分の意見を全員に見えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ずつ発言する機会を設ける。 ・意見を言いやすい雰囲気をつくる。
---	---

⑧ 昨年のマットの授業でオノマトペ（音）を使った授業は課題解決に有効でしたか。

項目	割合
有効だった	72.2%
まあまあ有効だった	27.8%
あまり有効ではなかった	0%
有効ではなかった	0%

本授業クラスは、1学年でリズムダンスを経験済みである。また、毎年体育祭でよさこいソーラン節を踊っていることもあり、ダンスには様々な種類があるという予備知識はもっている。事前のアンケートの結果から、「どんなダンスが好きか」という質問に対しては、リズムダンスをあげる生徒が56.2%と一番多かった。創作ダンスについては、多くの男子生徒が苦手意識をもっていることが予想されたが、好きと答えた生徒は30.1%で、予想に反して興味・関心がある生徒が多いということが分かった。さらに、小学校の表現運動への取組を振り返らせたところ、全体の7割を超える生徒が意欲的に取り組んだと回答している。「1学年次のリズムダンスでの成果」に対しては、リズム感が身に付いた、踊る楽しさを味わえた、表現する楽しさを味わえたと前向きな回答が多く、十分な成果を感じている反面、作品をつくる過程で話合いがまとまらずに仲間と共通理解を図ることができなかつたり、完成まで至らなかつたりなどの課題をあげている。「課題解決に必要なこと」では、多くの生徒がグループでの話合いの充実が必要であると感じているが、これまでの話合いの場で、3割を超える生徒があまり意見を言うことができていると感じている。話合い活動を充実したものにするために、ホワイトボードや付箋を有効活用し、一人一人が意見を出せるようなルールを設定する必要がある。

また、昨年マット運動の授業で行ったオノマトペ（動きを音で象徴的に表す）を使った技能分析は、全員が課題解決に有効だったと回答している。創作ダンスは、テーマから表したいイメージをとらえ、動きで表現しなければならず、作品づくりでは創造性が大きな鍵をにぎっている。そこで、本単元においても、動きのイメージをとらえやすくするために、オノマトペを使った動きづくりを取り入れることが有効と考える。誰もが簡単に表現できる動きから段階的に指導を行い、苦手意識がある生徒も意欲的に作品づくりに取り組めるようにするとともに、仲間と協力して作品づくりが行えるようにしていく必要がある。

(4) 教師の指導観

1年次において、現代的なリズムのダンスの学習で作品づくりを行った経験を生かし、今年度は男子の創作ダンスでひとまとまりの作品をつくる活動に挑戦する。創作ダンスの経験が少ないからこそ、活動の中で新しい発見をしたり、仲間のよさに気付いたりして、ダンスでの表現力だけでなく自分の考えや気持ちを日常生活で表現していく力も高められるのではないかと考えた。そして、最後まで仲間と協力して作品を完成させ、発表会を通じて達成感や表現することの楽しさを味わわせることを目標とした。

今回、初めて創作ダンスを行う男子にとってテーマのイメージを体で表現したり、形にしたりすることは難易度が高い。そこで、昨年度、マットの技能分析で有効だったオノマトペを使い、動きを表現する活動を取り入れる。テレビに映し出されたオノマトペを自分がイメージする動きで即興的に表現するオノマトペトレーニングを毎時間取り入れ、恥ずかしさや、苦手意識を取り除いていく。さらに、作品づくりを円滑に進めるために、短い即興的な作品から少しずつ場面を増やし、ひとまとまりの変化のあ

る作品づくりにつなげていく。作品をつくる際には、テーマからイメージする場面を組み立て、それぞれの場面にあったオノマトペを見付け、そのオノマトペを動きに変換していくという手順をとる。ストーリーをオノマトペでつなげることで動きをイメージしやすくするとともに、グループで共通理解が図りやすくなると考えた。また、話合いや意見交換もより具体的にできるようになることが期待できる。短い即興的な作品づくりのテーマについては、全グループが同じテーマで行い、テーマからイメージするオノマトペや表現方法の違いに気付かせ、表現の幅を広げていきたいと考える。最終的な作品づくりでは、使用する曲は統一するが、テーマについては選択肢を増やし、オリジナリティーあふれる作品となるようにしていく。初めて創作ダンスに挑む男子に限られた時間の中で意欲的に作品づくりに取り組み、仲間と協力して作品を完成させる喜びや達成感を味わわせたい。

また、話合いや意見交換を充実させるために、ホワイトボードはイーゼルに立てかけ、全員の顔が上になっている状態で取り組めるようにするとともに、意見については付箋に記入してホワイトボードに貼り付けていき、全員が意見を出せる雰囲気やオノマトペなどを簡単に並べ替えることができるような場を設定していきたい。

5 指導と評価の計画(2年 10時間扱い)

時	学習内容と活動	評価の観点				評価方法及び評価資料
		関	思	技	知	
1	<p>○学習の進め方を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品づくりの流れを整理する。 ・女子の発表会を見て、互いの感想やよかった点について話合う。 ・自分の目指す姿について個人目標を設定する。 <p>○ウォームアップダンス（リズム）を覚える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の動きを真似て、リズムに乗って踊る。 	⑤			①	観察
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ねらい① 決められたテーマからイメージをとらえた表現ができるようにする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="writing-mode: vertical-rl; float: left; margin-right: 5px;">ウォームアップダンス・オノマトペトレーニング</p> <ul style="list-style-type: none"> ○オノマトペトレーニングの確認 <ul style="list-style-type: none"> ・画面に出されたオノマトペからイメージする動きを即興的に表現する。 ○スローモーション <ul style="list-style-type: none"> ・指定された簡単な動きを2人組でスローモーションで表現する。 ○ダンスカルタ <ul style="list-style-type: none"> ・小グループでの活動。指定された動きを即興的に表現し、何の動きをしているかを仲間が当てる。 ○ダンス評価や動きのポイントについて確認する。 ○話合いのルール確認 (ホワイトボード) <ul style="list-style-type: none"> →イーゼルを使用し、常にグループの全員の視野に入る位置に置く。話合いでは、意見の集約に使用する。 (付箋) <ul style="list-style-type: none"> →ストーリーづくりでオノマトペを書き入れたり、創作活動で動きの案を書き入れたりするために使用する。 ○話合いの練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・テーマを与え、ルールに沿って話合いの活動を行う練習をする。 </div>	①			②	観察 学習ノート

時	学習内容と活動	評価の観点				評価方法及び評価資料
		関	思	技	知	
3	<p>ウオーラムアップダンス・オノマトペトレーニング</p> <p>《作品づくりの導入》</p> <p>○CMづくりを行う (CMづくり①)</p> <p>CMづくりの流れ</p> <p>①黄色の付箋に、何を表現している場面かを書き、ホワイトボードに貼ってストーリーをつくる。</p> <p>②黄色の付箋に書かれた場面に合うオノマトペを見付け水色の付箋に書き、ホワイトボードに貼る。(オノマトペは3つ考える。)</p> <p>③オノマトペを8カウントの動きに変換する。</p> <p>④オノマトペからイメージした動きをつなぎ合わせる。</p> <p>CMづくりのルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマは全グループ同じテーマとする。 ・8カウント×6で動きをつくる。 ・はじめ、なか、おわりの3段階で構成する。 ・オノマトペ1つで8カウント×2の動きをつくる。 <p>○発表会を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループでつくったCMの発表会を行う。 ・ベストCM賞を決める。 	①	①			<p>観察</p> <p>学習ノート</p> <p>付箋</p> <p>ホワイトボード</p>
④ 本時	<p>《作品づくりの導入②》</p> <p>○CMづくりを行う (CMづくり②)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の活動を生かし、テーマを変えて、CMづくりを行う。 ・はじめ、なか、おわりの3段階で構成する。 ・8カウント×6で動きをつくる。(オノマトペは3つ考える。) <p>○発表会を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループでつくったCMの発表会を行う。 ・ベストCM賞を決める。 		②	①		<p>観察</p> <p>学習ノート</p> <p>ホワイトボード</p> <p>付箋</p>

時	学習内容と活動	評価の観点				評価方法及び評価資料
		関	思	技	知	
5	ねらい② 仲間と協力してテーマから表したい動きを捉えて、見ている人に伝わる作品づくりを行う。	③	④			観察 学習ノート 視聴覚機器 ホワイトボード
6	○グループで作品づくりを行う 作品づくりの流れ	①	①			
7	ウォームアップダンス・オノマトペトレーニング ①グループごとにテーマを決める。 ②はじめ、なか、おわりのおおまかな流れを考える。 ③黄色の付箋に、何を表現している場面かを書き、ホワイトボードに貼ってストーリーをつくる。	④				
8	④黄色の付箋に書かれた場面に合うオノマトペを見付け水色の付箋に書きホワイトボードに貼る。 ※1つの場面に1つのオノマトペとする。 (黄色の付箋1つに水色の付箋1つ) ⑤オノマトペを8カウントの動きに変換する。 ※「はじめ」「なか」「おわり」ごとに③～⑤の作業を繰り返す 作品づくりのルール ・全グループ同じ曲で行う。 ・作品で使用するオノマトペは、6～9個となる。 ・テーマは「工事現場」「祭」「火山」「漁師」から選択する。 ○視聴覚機器でダンスを撮影し、自分たちの作品を客観的に見て修正する。		②		②	
9	○動きの修正と踊り込みを行う ○互いに教え合い、交流する ・グループ同士で互いの動きを鑑賞し、アドバイスカードに気付いたことを書き込む。	④	③			観察 学習ノート 視聴覚機器 アドバイスカード
10	○発表会 ・仲間の発表を見た感想等をノートに書き込む。 ・一緒に活動してきた仲間にサンキューカードに書く。 ○まとめ ・作品づくりを通して学んだことをノートに記入する。	②		②		観察 学習ノート 視聴覚機器 サンキューカード

6 本時の目標と展開

(1) 本時の目標

- ① 自己やグループの課題を見付け、その課題に応じた練習方法を選んでいる。(思考・判断)
- ② テーマから表したいイメージを捉え全身を使って大きく表現している。(技能)

(2) 本時の展開 (4 / 10)

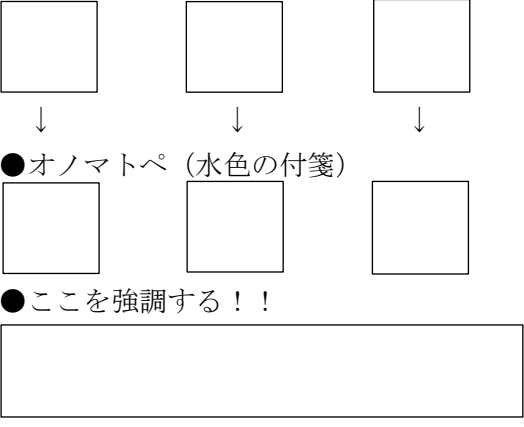
時間	学習内容と活動	指導や支援の手立て (◇は評価)
はじめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶、出欠確認をする。 ○ウォームアップダンスを行う。(曲①) ○オノマトペトレーニングを行う。(曲②) ・教師が TV に映しだしたオノマトペを即興で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康観察を行う。 ・大きな動きで堂々と踊るように声をかける。 ・オノマトペを見て感じたイメージを深く考えすぎずに素早く表現するよう助言する。 ・即興的に動けた生徒、大きな動きができた生徒を称賛し、全体に紹介する。
なか 35分	<p>○本時の目標を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ねらい 前回よりも人にPR できるCMになるように全身を使って大きな動きでテーマを表現しよう。</p> </div> <p>○CMづくりを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>CMづくりの流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ①黄色の付箋に、何を表現している場面かを書き、ホワイトボードに貼ってストーリーをつくる。 ②黄色の付箋に書かれた場面に合うオノマトペを見付け水色の付箋に書き、ホワイトボードに貼る。(オノマトペは3つ考える。) ③オノマトペを8カウントの動きに変換する。 ④オノマトペからイメージした動きをつなぎ合わせる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>CMづくりのルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマは全グループ「掃除」とする。 ・はじめ、なか、おわりの3段階で動きを構成する。 ・オノマトペ1つで8カウント×2の動きをつくる。 ・8カウント×6で動きをつくる。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・司会者には全員の顔が上がっていることを確かめてから話し合いを行うように助言する。 ・付箋を貼るだけでなく、声に出して説明させるようにする。 ・動きを引き延ばすためのアイデアが出てこない場合は助言する。 ・グループを巡回し、音を上手に表現しているグループは称賛する。 ・動きのイメージが思い浮かばないグループは、思いついたオノマトペをつなげるだけでもよいことを助言する。 ・オノマトペが多数ある場合には、より分かりやすい表現をグループで精選させる。 ・グループでなるべく多くのオノマトペを付箋に書き込むように助言する。 <p>◇自己やグループの課題を見付け、その課題に応じた練習方法を選んでいる。 (イ - ②思考・判断：観察、学習ノート)</p>

<ホワイトボードの使い方>

ホワイトボード① (意見整理)

●場面 (黄色の付箋)

(はじめ) (なか) (おわり)



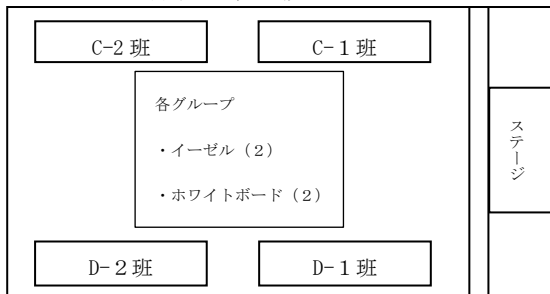
●オノマトペ (水色の付箋)

●ここを強調する!!

ホワイトボード② (作業用)

→付箋を貼ったり、意見を書いたりする。

<グループ活動の場の設定>



○発表会を行う。(曲③)

- ・各グループでつくったCMの発表会を行う。
- ベストCM賞を決める。
- ・1番よかったと思うグループのCMに挙手する。

・発表を見る際には、自分たちのグループとの違いに着目するように助言する。

・仲間の発表の後は、必ず拍手をさせる。

◇テーマから表したいイメージを捉え全身を使って大きく表現している。

(ウ-①技能：観察)

5分

○本時の授業を振り返る

・うまくいった点、反省点、次回に生かしたいことを学習ノートにまとめる。

○次時の確認をする

・テーマを選んで本格的な作品づくりを行う。

○片付け、整列、挨拶

・CMづくりを振り返り、気付いたことや反省を書かせる。

・授業の反省を数人の生徒に発表させる。

◇自己やグループの課題を見付け、その課題に応じた練習方法を選んでいる。

(イ-②思考・判断：観察、学習ノート)

・健康観察を行う。

< 成果 >

- ・オノマトペというツールを使ったことで動きのイメージがしやすくなった。
- ・話合いのルールを設定したことで多くの意見が出るようになった。

< 課題 >

- ・動きづくりの際に、恥ずかしさからか動きが小さくなってしまう生徒がいる。
- ・効果的な音楽の使い方。